

「ロータリー財団のこれから」

1916－1917年度のRI会長アーチ・クラン氏が「全世界で良いことをしよう」そのための基金を創ろうと呼びかけ、1917年にロータリー基金として設立されました。そして1928年にロータリー財団と改称され、1983年にはアメリカ・イリノイ州の法令のもとで非営利財団法人に登録されています。

以来、ロータリー財団は大きく発展してきましたが、プログラムはあまり変更されずに今日を迎えています。時代の変化、多様化とともにロータリー財団の奉仕活動は大幅に増大しています。そして、2017年にはロータリー財団が100周年を迎えるにあたって、財団がこれからの時代に即した存在であり続け、信頼を勝ち取るために、2007年の規定審議会で、財団のプログラムについて採択されました。

○すべてのプログラムと運営を簡素化する

○プログラムの成果、内容を未来の夢計画に沿ったものとする

○各クラブにおいては、財団へ一層参加し、自分たちの財団であることを自覚する

○プログラムの目標達成のための、十分な資金と人材を提供する

ロータリー財団は、世界の人々の健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解親善、平和を達成することを使命としています。

そこで、今年度から「未来の夢計画」を導入するにあたって、日本では6地区（パイロット地区）が3年間試験期間として新しい補助金制度に参加しています。この試験期間中にそれぞれのプログラムは、評価と見直しが行われ、2013－14年度からはすべての地区が導入しなければなりません。

新しい補助金制度は、最初に地区が参加資格認定をオンラインで取得しなければなりません。年次プログラム基金は、地区財団活動資金（DDF）と国際財団活動資金に分けられ、配分は50:50です。これは従来と変わりません。さらにDDFの50%が新地区補助金とグローバル補助金に分けられます。さらにグローバル補助金は、パッケージ・グラントとクラブ&地区計画補助金の2種類に分けられます。

新地区補助金は現行の地区補助金と同じように地区が一括して補助金を授与できます。

またグローバル補助金を使う場合、次に掲げる6つの重点分野のいずれかに関連するプロジェクトが関係していないと補助金の授与が受けられません。

- 1) 平和と紛争予防・紛争解決
- 2) 疾病予防と治療
- 3) 水と衛生設備
- 4) 母子の健康
- 5) 基礎教育と識字率向上
- 6) 経済開発と地域開発

未来の夢計画を支える財団寄付の方法については従来と変わりません。

- 1、年次寄付
- 2、恒久募金
- 3、使途指定寄付（ポリオ・プラス等）があります。

年次寄付の目標額は、クラブが設定した目標の総額が地区の目標になります。ロータリアンは毎年一人当たりの寄付を 100 ドルにする決議（01-276）が採択され、2004 年規定審議会で Every Rotarian Ever Year（毎年あなたも 100 ドルを）が支持されました。（04-157）

恒久基金はクラブ 1 名以上の寄付をお願いします。通常 1,000 ドル（寄付者はベネファクター「後援者」）としてポール・ハリス・フェローのバッチと認証状を受け取ります。

指定寄付として、「ロータリーの 2 億ドルのチャレンジ」が 2012 年 6 月 30 日まで繰り広げられています。ビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団から寄せられた米貨 3 億 5,500 万ドルの補助金がきっかけとなってロータリーが開始した「End Polio Now」（今こそポリオ撲滅のとき）キャンペーンです。募金総額は 10 月 28 日現在で 1 億 5,100 万ドルとなりました。

財団に一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。

補助金の資金調達モデル

